

第8回サウンズ・コンテスト On The Computer 開催

場所/大分市オアシス21 映像小ホール 日時/平成11年11月27日(土) 13:30~17:00

サウンズコンテストも第8回を迎え、今回もコンピュータによる作曲・編曲の普及と音楽的感性の向上、加えてパソコン用の音楽ソフトの普及をメインコンセプトに実施致しました。また今年も、第1回大分県民芸術文化祭の協賛事業として、11月27日(土)に大分市/オアシス21映像小ホールでの開催となりました。今年の主催は大分県情報サービス産業協会の単独主催という形態となりましたが、イベントには『音楽を通じて県民とのつながりを大切にしたい』という願いが込められております。

そうしたなかで今年も白熱したコンピュータミュージック・バトルが展開されました。

約150名のお客様が来場し、常時50名位のお客様が最後まで熱心に視聴してくれました。

当日は審査委員長に大分大学教授の田村洋彦先生をお迎えし、他3名の審査委員の方々を加え、音響効果抜群のホールにて公開審査を行いました。その結果、今年度のグランプリは橋本一彦さんの『Lullaby Of Wind(風の子守歌)』と決定致しました。

今年は昨年より応募者応募曲ともに少なくなりましたが、審査対象者が熱心で出席も良く(2名欠席)、作品全体のレベルアップがみられました。そのため審査に時間がかかりましたが、その間ビデオ(大分県企画部広報広聴課より借出し)上映によりお客様に待っ

ていただきました。地域的なものとしては、大分市以外からの応募があいかわらず多く、これもインターネットによる広報によるものと思われると思います。今年の特徴として、若年層のお客が多く、それがこのイベントを盛り上げてくれる要素となりました。また作品の水準も年々高くなってきており、コンテスト実施当初のコンピュータを駆使したテクニク的なものだけにとどまらず、音楽的なセンスもますます高度なコンテストとなってきました。

最後に今回の『サウンズコンテスト』にご協力を頂いた関係者の皆様ありがとうございました。

審査委員

	氏名	備考
審査委員長	田村 洋彦	大分大学教授・九州作曲家協会副会長
審査委員	郷司 潔	大分県情報サービス産業協会会長(株)オーイーシー
審査委員	森 純子	大分県情報サービス産業協会賛助会員(NTT西日本大分支部)
審査委員	内田 郁久	大分県情報サービス産業協会会員(株)シーエーシー



多数の方々参加



郷司会長より挨拶



審査委員長 田村氏より総評



会場入口



審査委員の方々



喜びの入賞者

第8回サウンズコンテスト入賞者(99年度)

	氏名	年齢	地区	タイトル	副賞の商品協賛社
グランプリ	橋本 一彦	40	大分市	Lullaby Of Wind(風の子守歌)	・IVY総合技術工学院 ・NTT西日本大分支部 ・FM大分 ・トキハ ・KCS九州電子計算機専門学校 ・日立大分支部 ・日本電気 ・富士通大分支部 ・日本アイピーエム ・築城ソフト研究所
オリジナル曲部門1位	安東 哲	29	臼杵市	River	
オリジナル曲部門2位	清松 明	31	大分市	Eyes Shut	
オリジナル曲部門3位	木下 直郁	21	埼玉県	No 04	
編曲部門 1位	指原 隆	46	挾間町	ビバルディ風「さらりとした協奏曲」より第一楽章	
編曲部門 2位	篠田 廣一郎	77	大分市	赤い靴	
編曲部門 3位	望月 陽一郎	36	大分市	Tk piano solo '99	
審査員特別賞	後藤 真典	31	大分市	Strikes Back	

第11回OISA技術交流会 基調テーマ「コンピュータウイルス」 日時：平成11年10月8日（金） 場所：大分商工会議所中ホール

当協会の情報化月間定例行事として大分商工会議所との共催で技術交流会を開催し、100名を超える方々が参加されました。

パソコンが個人レベルに普及し、ビジネスマンにとってモバイルコンピューティングが当たり前前の時代になってきている現在、インターネットなしではビジネスが成り立たなくなっています。こうした環境の下でコンピュータウイルスについての最新情報を習得し、被害に遭わないようにしようということが今回の狙いでした。

日経BP社から日経コンピュータ副編集長

田口潤氏を講師としてお招きし、「狂暴化するコンピュータウイルス」をテーマに講演していただきました。コンピュータ専門誌の編集者として豊富な経験と知識、最新情報を持っておられる田口氏から、ウイルスの具体例から被害の実態、対策までを分かり易くお話しいただき、日常業務でコンピュータと深く関わっている参加者にとって大いに参考になりました。

講演の中では、ウィルスマクロの実例やソフトウェアベンダーを装ってユーザーにワクチンと偽り、ウイルスを感染させるためのメールを送る例、具体的なウイルスの感染の仕方と被害内容、被害の大きさの紹介、だんだん巧妙に、発見しにくくなるウイルスの実態などの紹介と解説をいただいた。ウイルス対策では対策ソフトのベンダー、ウイルス対策の動向や市販されている対策ソフトとその特長について紹介された。

さらに2000年問題に便乗して、2000年問題対策案内メールを装って感染を試みるウイルスのことも紹介された。また、想定される2000年問題関連のトラブルから企業内ネットワークを守るため、本年末年始の一定期間、社内システムをインターネットに接続しない企業の例などの紹介もいただいた。

(技術委員会)



平成11年度 第一回視察研修旅行実施される

椿ヶ鼻風力発電システム視察

大型台風18号の風の強さをまじまじと感じさせる山道を視察研修参加者23名を乗せたバスは、予定時刻を20分過ぎ椿ヶ鼻ハイランドパークに着きました。大分県に唯一の風力発電システムは、地形がVの字を形どる、風の通り道に設置され、まだ、緑の残る風景に白い均整のとれた姿態を私達に見せてくれました。

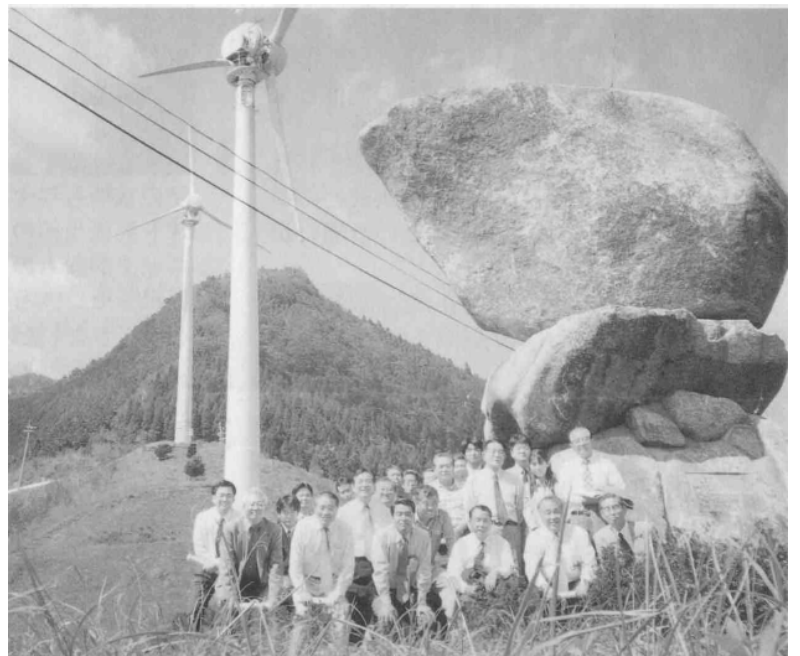
以下名称及び発電能力を簡単に紹介します。

名称：日立ENBRCON E-30/280KW
出力：245KW(風力14m以上)
ハブ高：36m(プロペラの中心迄の高さ)
電気使用施設：椿ヶ鼻ハイランドパーク
全施設

余剰電力売却先：九州電力
売却価格：15.35円/KW
価格：1億円~1.5億円(補助有)

当日は風速2.5m未満の為プロペラが回転しなかったことが心残りでした。

最後になりましたが、発電設備の説明をして頂きました(株)日立サービスエンジニアリングの越名所長、山下主任技師本当に有り難うございました。



大分県畜産試験場視察

椿ヶ鼻から途中の久住高原荘で昼食をとり第二の視察地である畜産試験場へ着いた。ここではクローン牛とその親牛を見学し、それについての説明を受けた。1998年7月に日本で初めて体細胞クローン牛が石川県で誕生した。

細胞核を除去した未受精卵に体細胞から核移植を行い、同一の遺伝的形質をもったクローン牛を大量に生産するという画期的な技術であり、ここでもそれを行っている。通常の受精では卵子と精子の組み合わせにより生まれる子牛の形質は一頭一頭異なる。しかし、特定の優れた牛の

細胞核を大量に取り出して、別々の未受精卵に移植すると、その形質を持った子牛が大量に生まれ、良質牛を大量に生産することができる。こうしたクローン牛の肉が市場に出回るのはそう遠くない。しかし、この技術は原理的にヒトにも応用できることで、倫理的・社会的な問題を含んでいると思う。人間の正常な倫理観を切望する。世紀末にならないように・・・

(企画委員会)



Advanced Information Valuable Service

◆営業内容

- 【流通系】システム開発
- 【LPG】販売管理・検針業務・保安管理
- 【新聞販売店】販売管理システム・顧客ロケーション管理(マッピング)
- 【環境計量事業向け】水質検査システム(飲料水関係含む)
大気システム 作業環境
- 【建設業関連システム】CAD・原価管理・パース図等

◆開発言語

- Microsoft Access
- Microsoft VisualBasic
- Borland Delphi
- C
- Java

株式会社 エイビス

大分市南春日町2番14号
Tel.097-544-4155 Fax.097-544-4156
e-mail:aivs@oitaweb.ne.jp

企業の情報化実践セミナー 商工会議所と共催

1. 日時：平成11年9月28日 13:30～
2. 場所：大分商工会館 4階中ホール
3. 講師：
西日本電信電話(株) 上垣 一則氏
西部ガス情報システム(株) 小田 七生氏

研修委員会の平成11年度事業の一環として、大分商工会議所主催、日本商工会議所およびWINE JCCIワークグループ協力・協賛、当協会共催で「インターネット時代の情報化実践セミナー」が開催され、100名近い多数の参加となりました。

「インターネットがもたらした中小企業を取り巻く情報化の波」と題する基本セッションでは、



ンでは、ビジネススタイル変革とIT技術活用の関連、インターネットの社会基盤化、新ビジネスの紹介のあと、デジタル情報の活用が今後の鍵であることが説明されました。

「情報機器を活用したこれからのビジネススタイル」と題する応用セッションでは、

情報機器の役割が「効率化」、「情報共有」、「戦略武器」と変遷してきているという指摘、情報化のステップ、資料管理のポイント、既存データの一元管理などの説明がなされました。

まとめの「確実に情報化を進めるためのポイント」のパートでは、導入を成功させるための5W(何故、誰が管理、いつ開始、どこに設置、何を扱う)1H(資金調達)を詰める必要性が説明され、「何を解決したいのか」、「何をやりたいのか」といった要求仕様をしっかりと作ることが重要である、という締めくくりでした。

平成11年はいよいよインターネットがビジネスに活用される元年といわれるなか、状況把握、戦略の再確認に恰好の機会となり、大いにヒントを得られたセミナーとなりました。

技術研修会開催

Javaプログラミング入門コース Javaプログラミング応用コース

入門コースは11月15日、16日の2日間、応用コースは11月17日～19日の3日間、いずれもソフトパーク内地域経済情報センター2階の201研修室で実施されました。入門コースには20名、応用コースには15名が参加し、熱心に受講しました。

講師は、Sun Certified JAVA Programmer 1.1認定試験合格者の東芝コンサルタント教育技術部インストラクター中村静雄氏でした。研修は、講義と実習に講師の管理経験なども盛り込んだ実践的な内容でした。

入門コースは、Java言語の基本的な文法の学習と実習を通じたプログラム作成法の習得を目標とし、オブジェクト指向プログラミング、アプレットの作成、GUIの作成、イベント処理、マルチスレッド等、Javaの概要の研修でした。

応用コースは、開発ツールを利用したJava対応ブラウザで動作するプログラム作成法の習得を目標とし、ファイル出力、ネットワーク等の基礎の講義、Visual Cafeプログラミング作成実習等の研修でした。

アンケートによりますと、事前に配布したテキストを予習した人が全体の4分の3を占めるなどこの研修に村する関心の強さがうかがえました。また、91%の人が「もう少し練習すれば使える」と答えており、ほぼ全員が所期の目的を達成したといえるのではないのでしょうか。

(研修委員会)



知って得するキーワード ～人材高度化支援事業～

人材高度化支援事業とは、製品の付加価値化や事業の新分野展開を担える人材の育成を推進するために、事業主等に助成金を支給することによって、体系的・計画的な教育訓練の実施を図るものです。会員企業の中には既に助成金を受けているところもありますので、検討に値するのではないのでしょうか。

人材高度化事業は、準備事業1年間、訓練運営事業3年間の4年間にわたり継続して取り組む事業です。助成金としては、人材高度化事業助成金、人材高度化訓練運営助成金、人材高度化能力開発給付金があります。詳しくは次号で解説しますので、ここでは各助成金の概要を説明しましょう。

1. 人材高度化事業助成金

事業主等が教育訓練実施等のための準備に取り組む事業に対する助成金で、500万円を限度として経費の全額が助成されます。(認定を受けた日から1年間)

2. 人材高度化訓練運営助成金

事業主団体自らが従業員を対象に教育訓練を実施する事業に対する助成金で、1年間50万円を限度として訓練の運営経費の2分の1が助成されます。(認定を受けた日から3年間)

3. 人材高度化能力開発給付金

事業主等が従業員に対して実施した教育訓練の経費の一部(企業内研修の運営費・賃金、企業外研修の受講費・賃金、自己啓発の受講費・派遣費・賃金、出向・出向による雇入れの賃金)で、運営費・受講費・派遣

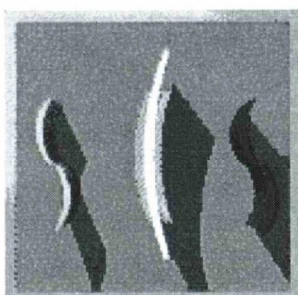
費の2分の1(中小企業は3分の2、の1人1コース当たり10万円を限度)、賃金の2分の1(中小企業は3分の2、1人1日当たり10,790円を限度)が助成されます。(認定を受けた日から3年間)

ただし、平成10年6月18日から平成12年9月30日までの間(緊急雇用開発対策期間)に、新たに開始されるものにあつては、大企業は3分の2、中小企業は4分の3の助成率となります。

4. 申請、問い合わせ

雇用・能力開発機構 大分センター
大分市都町1-2-19 第一生命ビル2F
電話(097)536-5040
Fax(097)536-5404

URL: <http://www.endo.go.jp/oita/>



株式会社 エス・シー・エス

Logistics Integration ・ System Integration ・ Network Integration

物流・システム・ネットワークの3つの柱でお客様に最適のソリューションを提案します

〒870-0912

大分市原新町6-15 TEL 097-556-7139 FAX 097-558-6156

URL: <http://www.scsnet.co.jp/>

協会イベント 好天に恵まれリフレッシュGO!

第5回 OISAボウリング大会開催

当協会総務委員会主催のOISA会員によるボウリング大会が盛大に開催された。

会員会社の社員対象に相互の親睦とレクリエーションをかねて平成7年度から実施しており、今回は5回目の開催。回を重ねる毎に参加者もふえ、今回は30チーム120名が参加した。

夕刻開始のことでもあり、参加者には軽食も支給された。

ゲームは、会員会社から4人1チームで参加し、4人2ゲームでのトータルスコアで得点を競った。

女性には1ゲーム15点のハンディをつけたが、女性が2割参加しており、華やいだ雰囲気なかで若者同士の交流がはかられ、表彰式を行って午後9時頃閉会した。

1 競技成績

チーム戦での優勝は、KK富士通大分ソフトウェアラボラトリBチームで、メンバーは小島光司、平石格、白石秀徳、富永尚の各氏でした。

個人賞は、男子ではKK富士通ソフトウェ

アラボラトリの白石秀徳氏、女子では同じくKKオーイーシーの帯刀里香さんが、ベストロ賞を獲得された。

その他の主な受賞チームと成績は別表のとおりでした。

2 来年度も実施予定

競技参加人数は、第1回25チーム100名、第2回28チーム116名、今回の第5回では30チーム120名と参加者は増加しており、会員各位のご協力に感謝するとともに来年度も開催予定です。次回も変わらぬご協力をお願いします。

第5回 OISAボウリング大会の成績

順位	チーム名	総得点
優勝	富士通OSL Bチーム	1,104点
準優勝	㈱日出ハイテック	1,100点
3位	㈱新日鐵情報通信システム	1,084点
5位	エス・シー・エス㈱Aチーム	1,033点
7位	富士通OSL Aチーム	1,020点
10位	総合技術工学院	1,006点



優勝のOSL Bチームと会場風景

第3回 OISA親睦ゴルフ大会開催

日時 平成11年11月3日(文化の日)9:03より

場所 別府ニッソーゴルフクラブ

当協会総務委員会の企画で、OISA第3回親睦ゴルフ会が協会行事として開催された。

会員対象に相互の親睦とレクリエーションをかねて別府ニッソーゴルフクラブでおこなわれた。参加者は14名でした。

当日は天気も良く、秋晴れのもと和やかに歓談しながら、各人の腕を競った。

参加会費はひとり3,000円、競技方法はダブルペリア方式でおこない、賞品も準備し、競技終了後に同会場で表彰式を行った。

今回の競技成績は次のとおりでした。

優勝は、岡田恒明氏(九州東芝エンジニアリングKK)で、グロススコア90、ネットスコア70.8(ダブルペリアハンディ19.2)でした。

準優勝は姫野隆氏(メビウスKK)で、同順で80, 72.8(72.8)。

3位は首藤勇氏(コンピュータエンジニアリングKK)で、同順で88, 73.6(14.4)。



OISA News

1999. 12. 30発行

発行：大分県情報サービス産業協会

会長 郷司 潔

編集：広報委員会

事務局 大分市城崎町2-6-31

(大銀コンピュータサービス(株)内)

TEL(097)537-5918

FAX(097)534-4545

印刷：佐伯印刷株式会社

人とシステムを技術で結ぶ

OECグループ

- ソフトウェア開発
- OA機器販売と導入支援
- コンピュータ関連技術者派遣
- 情報処理サービス
- データ入力サービス



通産省認定 システムインテグレーター認定登録企業

株式会社 オーイーシー

代表取締役社長 郷司 潔

本社 大分市東春日町17番57号(ソフトパーク内)

(〒870)TEL 097大代表537-1212

支社 東京支社(東京都中央区日本橋人形町2-4-9人形町双葉ビル6F)

福岡支社(福岡市中央区天神1-15-32天神MTビル6F)